

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ソレイユの森 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	令和6年12月2日		～ 令和7年1月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43名	(回答者数) 30名
○従業者評価実施期間	令和6年12月2日		～ 令和6年12月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月14日		○公表日 令和7年1月24日

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・本格的な器械体操の器具や設備が揃い、運動に関する専門的な知識を持った職員が在籍している為、特化した運動療育を提供することが出来る。	・体操指導や運動療育に関する研修の実施。 ・運動が得意な児童に関しては、目標を設定しながらやる気を引き出したり、得意を伸ばす支援を行い、運動が苦手な児童には楽しみながら体を動かし、運動への抵抗を軽減していけるよう支援を行なっている。	・関連事業所であるレイズ体操クラブとの連携を行い、余暇活動の充実や地域の他の子どもとの交流を図る。
2	・中学生を含む高学年の児童が多く、低学年の手本となり、子ども同士で望ましい行動を考え、伝え合うことが出来る。	・手本となる児童を褒め、認めてあげることで、自己肯定感を高めたり、望ましい行動を意欲的に取っていけるよう支援している。また、その姿を見た低学年の児童が高学年の児童に引張られ、望ましい行動へと繋がるよう環境作りを行なっている。	・行動面の手本だけではなく、学習面や進路に関しての繋がりを保護者を含め、強めていけるような機会を増やして行く。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ペアレントトレーニング等の家族支援を十分に行うことが出来ていない。	・ペアレントトレーニングや保護者を対象とした研修を実施する時間の確保が難しい。 ・ペアレントトレーニングを行うことのできる職員に限られている。	・職員の専門的な知識の向上を目的とした研修の実施、強化。 ・事業所内で行う保護者を対象とした研修や取り組みだけではなく、外部の研修等の情報提供を行なっていく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ソレイユの森 放課後等デイサービス

公表日 令和7年1月24日

利用児童数 43名

回収数 30名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	21	4	1	4	工夫されていて活動スペースを設けていると思う。	
	2	24	1	0	5		
	3	22	6	0	6		
	4	23	1	0	3		
適切 な 支 援 の 提 供	5	29	1	0	0	常に良く見てくれて本人の事を理解していると感じる。	
	6	27	1	0	2		
	7	29	1	0	0		
	8	29	1	0	0		
	9	29	1	0	0		
	10	29	1	0	0	・様々な内容を取り入れ、工夫されていると思う。	
	11	9	2	4	15	・公共の施設やレイズ体操クラブでの活動があるので良いと思う。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	29	0	0	1		
	13	26	1	2	1	・説明が不足している。	今後、わかりやすく丁寧な説明を心掛けていく。
	14	10	4	4	12	・あれば参加したい。	今後お便り等を通し情報提供を行なっていく。
	15	29	0	0	1		
	16	22	4	1	3		
	17	27	2	0	1	・本人にもそれが伝わって、支援に満足している。	
18	8	2	6	14			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	0	0	7		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	0	0	0	・送迎時に様子など、話す機会を設けてくれている。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	24	0	0	6		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28	0	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	0	0	10		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23	2	0	7		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	1	0	5		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24	0	0	5		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	29	1	0	0	・話しやすい環境、職員なので安心していきます。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27	3	0	0	・いつも運動、イベントと毎回楽しみにしています。 ・友人ができ、出来なかったことができるようになって楽しんでいる。 ・運動することに関しては楽しみにしています。それ以外の活動には、本人の特性ゆえに前向きではありません。 ・毎回「普通」と答えます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	0	0	0	・ソレイユさんがあって良かったです。いつもありがとうございます。 ・いつも丁寧に寄り添い支援してくれています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ソレイユの森 放課後等デイサービス				公表日	令和7年1月24日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		定期的に隣接する体操クラブの体育館を使用し、活動を行なっている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		入口が2階にあり、階段を使用しないとけない為、バリアフリー化がされていない。スロープ等の設置は難しく、配慮が必要な児童に関しては職員が付き添い対応している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		カーテンや仕切りを使い、1人になれる空間を作っている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在、第三者による外部評価は行っていない。協力して頂ける機関を探していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○				
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画を作成する際は、必ず他の職員も参加した会議を実施し、検討の上で計画書を発行している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		療育前の打ち合わせで支援目標を確認してから支援を行なっている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		運動プログラムだけではなく、野外活動や季節に応じたイベント行事を行なっている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	○		日々の活動だけではなく、体操クラブとの交流や様々なイベントを企画・実施しながら余暇活動を提供している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		SSTの活動の中で、自分の気持ちを表現したり、自己選択を行い、決定をする活動を取り入れている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		定期的に担当者会議を行い、情報共有を行なっている。難しい場合には保護者を通し年間行事や送迎についての確認を行なっている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		相談室を通し、情報を提供している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		センター研修の際や、日頃から必要に応じ助言を頂いたり、連携を図っている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		関連事業所である体操クラブとの交流を行なっている。	児童館等の交流は少なく、今後、交流の機会を検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		現在はあまり参加出来ていない為、今後積極的に参加していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			保護者に会える機会が少ない家庭もある為、連絡帳や電話等を通し、連携を強めていく。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			職員の質の向上を目的とした研修は行なっているが、保護者が参加出来る研修等の情報提供は行えていない。今後お便り等を通し情報提供を行なっていく。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○				

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○				
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○				
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要に応じ、保護者と面談や事業所で活動内容の見学を行い、助言や支援を行っている。	保護者に会える機会が少ない家庭もある為、連絡帳や電話等を通し、連携を強めていく。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○			今年度は保護者会を実施することが出来なかった。今後は実施を予定している。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的に発行しているお便りだけではなく、事業所用のLINEを活用して行事等の情報を発信している。		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○				
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○				
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○			地域との交流を求めているご家庭もある為、慎重に検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○				
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○				
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○				
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○				
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○				
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○				
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット報告書を作成し、療育終了後の反省や療育前の打ち合わせで共有、再発防止に努めている。		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○				
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○				